

# 2013年度 事業報告書

2013年 4月 1日から 2014年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

## 1 事業の成果

1) 厚生労働科学研究費補助による在日アフリカ人を対象としたエイズ対策研究事業、2) TICADV NGO コンタクト・グループに参加しアフリカ市民社会の代表も迎えて取り組んだTICADVに対するアドボカシー事業、3) アフリカンキッズクラブ、4) ウェブサイト・会報等を活用したアフリカが直面する課題、特に国際保健、食料安全保障、アフリカ熱帯林の課題に関わる情報発信、セミナー・課題検討会の開催ほかの取り組みを実施した。それぞれの活動に関する報告書、ウェブサイトでの情報発信は多くの人に参照され、他のNGOや国際協力機関の活動に反映された。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
アフリカ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在日アフリカ人コミュニティ、日本のNGOやエイズ問題関係者と連携を強化する取り組み、在日アフリカ人のエイズ・保健対策事業および生活支援等の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国のエイズ治療拠点病院を対象に、AJFも参加して作成した手引の利用状況、内容に対する要望に関する調査を行い課題を明らかにした。</li> <li>・在日アフリカ人支援を行っている団体が、HIV陽性者支援を行う手助けをした。</li> </ul> </li> <li>○ アフリカンキッズクラブ、在日アフリカ人の生活を考える会に関わる事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月にアフリカキッズクラブ初の子ども企画イベントを開催し、また、子どもゆめ基金の助成を得て、12月にケニア人留学生を迎えてのイベントを、3月には動物園企画を実施した。</li> <li>・8月に一泊二日のサマーキャンプを実施した。</li> <li>・11月に、在日アフリカ人家族の生活を考える会で、「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）」に関する学習会を開催した。</li> <li>・2013年度活動報告書を作成した。</li> </ul> </li> </ul>	2013年4月1日～2014年3月31日	主として東京都内	8人	全国のエイズ拠点病院へ手引が配布されている。	2,533

<p>ネットワーク形成事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JANIC、GII/IDI・NGO連絡会、NGO・労組協働フォーラム、CSR推進NGOネットワークの会員として活動に参加し、また児童労働反対キャンペーンほかに参加した。</li> <li>・4月にメーデー、12月に世界エイズデー・シンポジウムに参加した。</li> <li>○ アフリカに関わるNGOデータベースを公開、更新し、NGO同士の連携、国際協力機関とNGOの関係強化に寄与した。</li> <li>○ アフリカで活動するNGOに関する個人・企業・財団・学校等からの問い合わせ・相談に応じ、個人・企業・財団・学校等とNGOとの間の関係強化に寄与した。</li> </ul>	<p>2013年4月1日～2014年3月31日</p>	<p>主として東京都内</p>	<p>6人</p>	<p>ウェブサイトで開催しているデータベースには、公的機関やメディアを含む多くの人々がアクセスしている</p>	<p>79</p>
<p>アフリカ調査・研究事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (特活)ハンガー・フリー・ワールド、(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)および明治学院大学国際平和研究所(PRIME)とともに、6月、10月、11月に計4回、農業投資をテーマに連続公開セミナー「食べものの危機を考える」を開催した。</li> <li>○ 2012年度に実施したセミナー「食べものの危機を考える」をもとに作成した冊子『飢餓を考えるヒントNo.5 食べものの危機を考える』を会員、協力者、研究機関等に配布した。</li> <li>○ 「世界食料デー」月間の取り組みに参加し、8月にWE21と世界食料デー月間2013イベント「あふれる食とその裏側」を開催した。</li> <li>○ メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」を定期発行した(219～243号)。</li> <li>○ アフリカ熱帯林の課題に関わる情報発信を行ない、12月には開発と環境保全に関する課題検討会を開催した。</li> <li>○ アフリカ子ども学研究会に関わる取り組みを行った。</li> </ul>	<p>2013年4月1日～2014年3月31日</p>	<p>主として東京都内</p>	<p>20人</p>	<p>セミナーに延べ200人が参加 メールマガジンの読者は1300人 メールマガジンの内容はウェブサイトでも公開されており、多数の人が参照している</p>	<p>218</p>

<p>政策提言事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「動く→動かす」事務局として、MDGs達成に向けたNGOによるアドボカシー活動を担った。</li> <li>○ NGOコンタクト・グループを中心とするTICADプロセスへの働きかけを踏まえ、TICADVに向けたアドボカシーを担った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンタクトグループ事務局として、市民社会代表のTICAD参加支援を行った。</li> <li>・市民社会提言書作成、TICADVサテライト企画、記者会見等の取り組みを事務局として担った。</li> </ul> </li> <li>○ Open Society Foundation等の助成を受け、他のNGOとともに、世界エイズ・結核・マalaria対策基金の強化を目指すアドボカシーを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に、TICADVに向けたシンポジウムを開催した。</li> <li>・10月に、海外からの当事者も迎えて取り組まれたキャンペーン（国会議員訪問、シンポジウム開催etc）に参加した。</li> </ul> </li> <li>○ モザンビーク・プロサバンナ事業に関するモザンビーク農民組織・市民組織の声を日本に伝え、外務省との意見交換会などを通して事業の課題を明らかにする活動に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年度に6回開かれたプロサバンナ事業に関する外務省との意見交換会に参加した。</li> </ul> </li> </ul>	<p>2013年4月1日～2014年3月31日</p>	<p>主として東京都内</p>	<p>20人</p>	<p>事務局を務めるNGOネットワーク「動く→動かす」には70団体が参加 TICADアドボカシーを踏まえて、新たなNGOネットワークが誕生 世界基金に関するアドボカシーを行ったところ、日本政府は拠出金増額を発表 プロサバンナ事業に関する報告・提言書に16,000を超えるアクセス</p>	<p>7,726</p>
<p>アフリカ理解促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報「アフリカNOW」第98号、第99号、第100号を発行した。</li> <li>○ ナイジェリアでMSFのスタッフとして活動した看護師を講師に「アフリカひろば」を開催した。</li> <li>○ メールマガジン「AFRICA ON LINE」を定期発行した（692～743号）。</li> <li>○ アフリカンフェスタ2013、グローバルフェスタ2013に参加し、アフリカに関心を持つ人のネットワークを拡大した。</li> </ul>	<p>2013年4月1日～2014年3月31日</p>	<p>主として東京都内</p>	<p>15人</p>	<p>会報の発行数800部 メールマガジン購読者2,200人</p>	<p>648</p>

(2) その他の事業 なし

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)